



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アサンテ

コード番号 6073 URL <http://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宗政 誠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長

(氏名) 飯柴 正美

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	11,249	7.9	1,851	△14.0	1,861	△13.8	1,222	△12.6
28年3月期第3四半期	10,427	4.9	2,153	2.0	2,159	2.6	1,399	7.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	99.09	—
28年3月期第3四半期	113.42	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,188	10,804	76.1
28年3月期	14,025	10,359	73.9

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 10,804百万円 28年3月期 10,359百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	23.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,470	9.0	2,167	△7.1	2,174	△7.1	1,417	△4.6	114.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	12,341,900 株	28年3月期	12,341,900 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	68 株	28年3月期	68 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	12,341,832 株	28年3月期3Q	12,341,835 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、個人消費については低調に推移しました。

当社を取り巻く環境は、国の政策が既存住宅の維持管理意識の向上と長寿命化並びに資産価値向上にあることから、当社サービスに対する需要は引き続き底堅く推移しておりますが、消費者の強い節約指向と、人材確保の面で、依然として厳しい事業環境にあります。

このような状況下において、当社は人材の採用と育成を強化するとともに、コンプライアンスの一層の強化に向けて取り組みました。

また、映画「ゴーストバスターズ」とのタイアップCMや新聞折込、WEB媒体等を駆使した販促活動を展開して、認知度向上にも努めました。

この結果、売上高は前年同期比821百万円増(7.9%増)の11,249百万円となりました。

損益面では、退職給付費用が前年同期比284百万円増加したほか、主に人員増に伴う労務費、人件費の増加等により、営業利益は同301百万円減(14.0%減)の1,851百万円、経常利益は同298百万円減(13.8%減)の1,861百万円、四半期純利益は同176百万円減(12.6%減)の1,222百万円となりました。

#### (経営成績に関する特記事項)

当社の業績(特に利益)は、第2四半期累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、白蟻防除関連の受注件数が増加するためであります。この季節的変動により、四半期会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産は、前期末比162百万円増加して14,188百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。

負債は、前期末比282百万円減少して3,384百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少であります。

純資産は、前期末比445百万円増加して10,804百万円となりました。要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は76.1%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期におきましては、引き続き人員の増員と育成に努め、営業力の更なる向上に取り組んでまいります。

また、平成29年1月より、コンプライアンスの一層の強化及び業務効率の向上を推進するため、コンプライアンス本部及び業務推進部を新設し、それぞれ責任者に取締役を配置しました。

なお、売上原価、販売費及び一般管理費については、前期に発生した数理計算上の差異の全額を今期に処理することに伴い、退職給付費用404百万円(前期比377百万円増)を計上する見込みです。

このような状況を踏まえ、通期の総売上高は前期比1,196百万円増(9.0%増)の14,470百万円、営業利益は同164百万円減(7.1%減)の2,167百万円、経常利益は同165百万円減(7.1%減)の2,174百万円、当期純利益は同67百万円減(4.6%減)の1,417百万円と予想しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間における、四半期財務諸表への影響は軽微であります。

### (2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,156,713	6,587,390
売掛金	1,796,180	1,758,796
製品	60,512	59,376
原材料及び貯蔵品	135,882	153,198
その他	278,777	267,215
貸倒引当金	△179	△703
流動資産合計	8,427,886	8,825,274
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,712,210	1,659,893
土地	2,952,605	2,952,605
その他(純額)	202,733	195,397
有形固定資産合計	4,867,549	4,807,896
無形固定資産	39,712	36,549
投資その他の資産		
その他	742,026	572,148
貸倒引当金	△51,407	△53,157
投資その他の資産合計	690,618	518,990
固定資産合計	5,597,880	5,363,436
資産合計	14,025,766	14,188,710
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	289,665	292,876
短期借入金	70,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	412,788	356,654
未払法人税等	489,640	261,179
賞与引当金	255,948	92,824
その他の引当金	—	45,000
その他	894,776	1,022,433
流動負債合計	2,412,818	2,230,967
固定負債		
長期借入金	619,280	550,784
役員退職慰労引当金	488,226	501,143
資産除去債務	66,791	71,887
その他	79,456	29,286
固定負債合計	1,253,754	1,153,101
負債合計	3,666,572	3,384,068
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,156,410	1,156,410
資本剰余金	856,410	856,410
利益剰余金	8,346,466	8,791,914
自己株式	△92	△92
株主資本合計	10,359,194	10,804,641
純資産合計	10,359,194	10,804,641
負債純資産合計	14,025,766	14,188,710

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,427,163	11,249,118
売上原価	2,954,196	3,241,839
売上総利益	7,472,966	8,007,278
販売費及び一般管理費	5,319,832	6,155,455
営業利益	2,153,133	1,851,823
営業外収益		
受取利息	980	517
受取保険金及び配当金	24,029	23,849
その他	5,840	4,704
営業外収益合計	30,850	29,071
営業外費用		
支払利息	8,841	6,978
支払手数料	8,325	8,325
その他	6,919	4,063
営業外費用合計	24,086	19,367
経常利益	2,159,897	1,861,527
税引前四半期純利益	2,159,897	1,861,527
法人税、住民税及び事業税	671,064	625,773
法人税等調整額	89,059	12,771
法人税等合計	760,124	638,544
四半期純利益	1,399,773	1,222,983

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。